

社会福祉法人 津山福祉会

令和4年度 事業報告

「人が好きだから 一生けんめい」

【 行動指針 】

津山福祉会の事業に従事する職員は、津山福祉会の理念に基づき次の事項を実践します。

- ご利用者を選びません。
- ご利用者を大切にし、権利擁護に努めます。
- お一人お一人の満足を目指します。
- 自己の提供するサービスに責任を持ちます。
- 自己の研鑽に努めます。
- 地域を大切にし、地域にお住まいの高齢者の方、家族の方のご相談に親切に応じます。

▶ 重点項目

- * ICTの導入による業務の効率化と生産性の向上
- * 地域共生社会の実現に向けた地域づくり
- * ターミナルステージを含む高齢者の自立した生活を支援する高い専門性
- * 地域との連携
- * イノベーション ～社会福祉・介護における新たな価値の創造～
- * 地域と協働した災害体制の構築
- * 高寿園サステナブルな目標の実現

▶ サービスの質の向上

- * 見守りセンサー等の活用により個々の生活リズムに合わせたケアを行います。
- * 看取りケア指針の見直しと多職種協働によるケアとその評価システムの構築
- * 経口維持等高齢者の自立の支援に資するケア
- * 介護過程の展開に沿った根拠に基づくケア
- * 個別のニーズの把握と支援計画に基づく多職種協働
- * 担当指導者を中心としたグループによるきめ細かな新任者育成
- * 育成担当者、リーダー等役割毎の成果の検証
- * 円滑なサービス提供体制についての定期的な協議
- * 事業実施状況及び経営状態の把握と課題の検討
- * 研修の実施、受講、資格取得支援

▶ 地域との連携

- * 地域への情報発信
- * 地域センターを活用した地域交流事業の実施
- * 「運営推進協議会」の設置

▶ 生活支援事業

- * 生活支援サポーター養成事業
- * 地域のニーズ把握と生活支援サポーターのマッチング
- * リエゾンソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置
- * 生活支援サポーター養成事業関連における他事業所との連携推進

○ 介護保険事業

新型コロナウイルスのまん延は、介護サービスの提供、従事するスタッフをとりまく環境、入居者・利用者の暮らしに大きな変化をもたらしました。そのような中、国や自治体、関係団体からの通達等に則り迅速に命と暮らしを守るルール作りを行い、安全な介護サービスの提供を継続しました。

ユニット型特別養護老人ホーム 80床 ユニット型短期入所生活介護 19床
 地域密着型通所介護 定員10名
 ふれあい交流通所サービス 定員10名 元氣いきいき通所サービス 定員10名
 生活支援サポーター訪問サービス

《特別養護老人ホーム》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。
 施設に入居しても暮らしと関わりの継続を目指します。

- * 入居者の「暮らし」の継続の実現を目指したケアを提供します。
- * 入居者個々の自己実現に対し積極的なアプローチを行います。
- * 入居者の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 地域に親しまれる施設作りを目指し、地域と密着したサービスを提供します。

* 職員配置（令和5.3.31）

職 名	人 数	職 名	人 数
施設長	1	音楽療法士	0.4
生活相談員	1	管理栄養士	1.6
介護士	34.7	調理職員	6
介護福祉士	(26.6)	嘱託医	0.1
介護支援専門員	2	作業療法士	1
看護職員	4.4	事務員	4.2
機能訓練指導員	1.1	外国人労働者	6
歯科衛生士	0.2	運転手・環境整備員	2.5

※人数は常勤換算により計算

（ ）は再掲

* 医療連携

・ 嘱託医

大海 庸世 （おおみクリニック） 隔週 水曜日回診
 松下 明 （奈義ファミリークリニック） 隔週 水曜日回診
 平井 龍三 （勝北診療所） 隔週 金曜日回診

・ 産業医

大海 庸世 （おおみクリニック）

・ 協力医師

赤枝 輝明 （津山東クリニック ： 内科、泌尿器科）

・ 協力医療機関

積善病院 （精神科、神経科、内科、歯科）
 津山第一病院 （消化器科、循環器科、整形外科等）
 近光整形外科 （整形外科）
 日本原病院 （内科、神経内科、循環器内科等）

・ 協力歯科医療機関

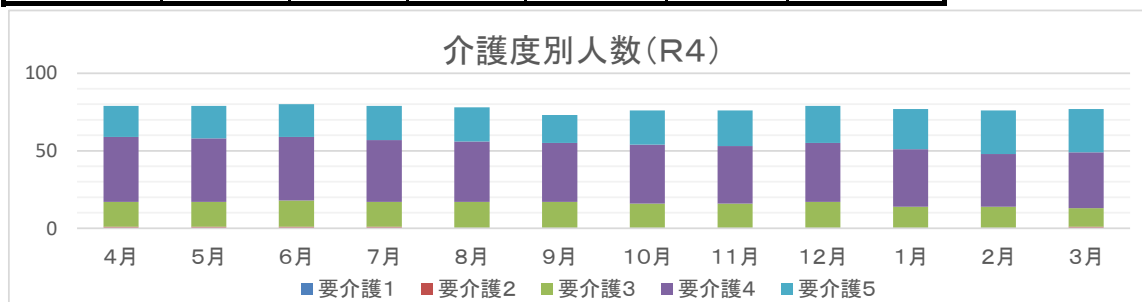
内田歯科クリニック

* リーガルサポート

竹内俊一弁護士事務所
 神田労務コンサルティング
 税理士法人 LEGARE

○ 入居者状況

提供年月日	入居実延べ日数（上段）／人数（下段）					
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和4年4月	0	30	472	1,191	555	2,248
	0	1	16	42	21	80
5月	0	31	473	1,192	628	2,324
	0	1	16	41	21	79
6月	0	30	482	1,215	608	2,335
	0	1	17	41	21	80
7月	0	31	491	1,216	654	2,392
	0	1	16	40	22	79
8月	0	0	527	1,186	626	2,339
	0	0	17	39	22	78
9月	0	0	502	1,097	540	2,139
	0	0	17	38	18	73
10月	0	0	484	1,103	621	2,208
	0	0	16	38	22	76
11月	0	0	480	1,076	650	2,206
	0	0	16	37	23	76
12月	0	0	499	1,095	700	2,294
	0	0	17	38	24	79
令和5年 1月	0	0	415	1,051	806	2,272
	0	0	14	37	26	77
2月	0	0	360	912	761	2,033
	0	0	14	34	28	76
3月	0	31	372	1,009	786	2,198
	0	1	12	36	28	77
合 計	0	153	5,557	13,343	7,935	26,988
	0	5	188	461	276	930



月別入・退居者数

令和3年度末現員	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	令和4年度末現員
80	入 居	0	3	3	1	0	0	4	1	5	1	3	6	27	74
	退 居	1	3	2	1	4	2	3	2	3	3	5	4	33	

市町村別 (R5.3.31現在)

市町村名	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
津山市	0	1	10	29	21	61
鏡野町	0	0	2	3	3	8
美作市	0	0	0	3	0	3
勝央町	0	0	0	1	1	2
合計（5市町村）	0	1	12	36	25	74

年齢と性別 (R5.3.31現在)

	60歳未満	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳以上	合計	平均年齢
男性	0	0	0	1	5	2	3	4	1	0	16	83.7
女性	0	0	1	1	2	6	16	19	11	2	58	89.5
合計	0	0	1	2	7	8	19	23	12	2	74	88.3

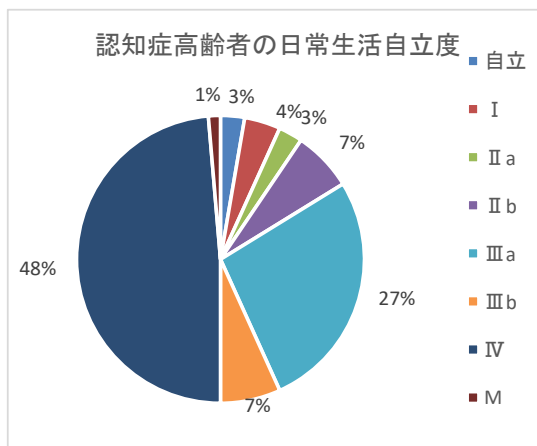
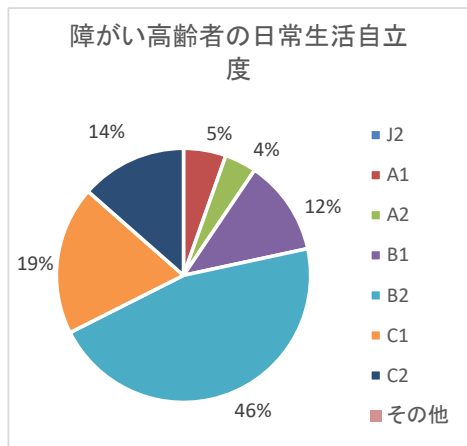
障がい高齢者の日常生活自立度 (R5.3.31現在)

	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	その他	合計
人数	0	4	3	9	34	14	10	0	74

※その他：更新中

認知症高齢者の日常生活自立度 (R5.3.31現在)

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	その他	合計
人数	2	3	2	5	20	5	36	1	0	74



入居者介護状況（日常生活動作）

日常生活動作			人数	日常生活動作			人数
移動	車椅子		65	排泄	おむつ		28
	歩行（補助具あり）		7		トイレ（夜間おむつ）		37
	歩行		2		トイレ（常時）		9
食事	全介助		17	入浴	特浴		21
	一部介助		13		中間浴		26
	自立		39		個浴		27
	経管栄養		5				

在所期間 (R5.3.31現在)

	1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上	合計	平均在所 期間
男	7	6	2	1	0	16	1年7ヶ月
女	18	15	14	10	1	58	3年0ヶ月
合計	25	21	16	11	1	74	2年3ヶ月

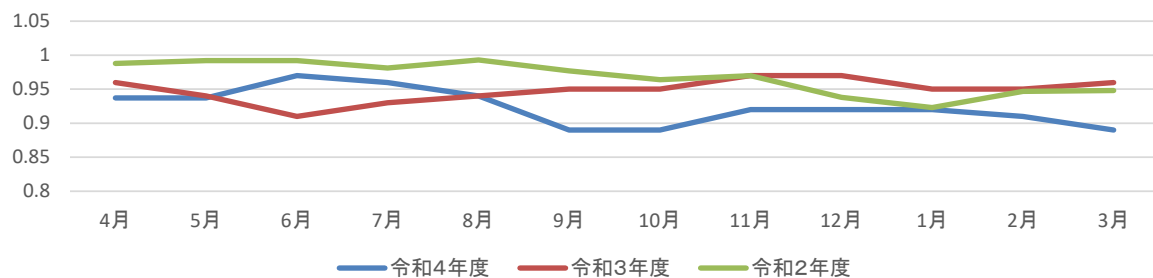
退居者内訳（性別）

男性	女性	合計
11	22	33

退居者内訳（区分）

死亡	入院	在宅	他施設	合計
18	15	0	0	33

月別平均利用率の推移(R4)



《短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護》

【運営方針】

おもてなしの姿勢でお迎えして、ご利用者ご家族ともに満足・安心していただける心の心のこもった質の高いサービスを提供します。

在宅での生活の継続の支援を基本に、ご利用者の機能向上を目指します。

ご利用者のご家族の意向を大切に、心と身体の支えとなる支援を目指します。

- * ご利用者が望む生活の実現のための個別ケアの向上に努めます。
- * ご利用者の自立を支援し、来園時より良い状態でお帰りいただくことを目指します。
- * 心身機能の把握と危険を予測して事故を回避するケアに努めます。
- * 状態に応じてケアを見直して、適切なケアを提供します。
- * 状態の把握と異常の早期発見に努め、健康管理、感染予防策の徹底を図ります。
- * 食事形態、嚥食状況、体重変化等の状態を把握し、個々にあった楽しくおいしい食事からの健康づくりを目指します。
- * 職員のチームワークを重視してケアの資質向上に努めます。
- * ショート職員配置 (R5.3.31)

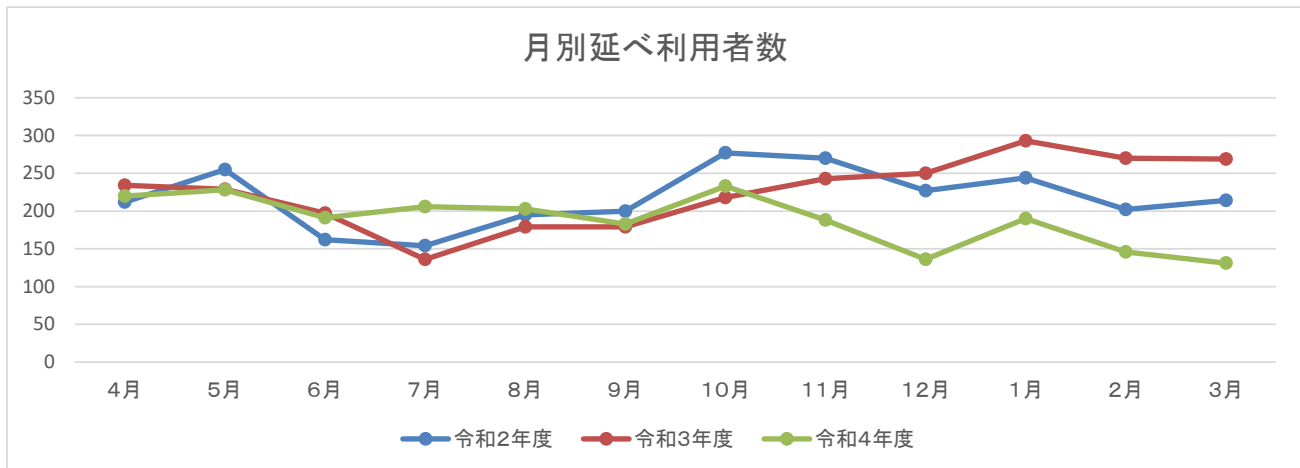
職 名	人 数	職 名	人 数
管理者	1 (特養兼務)	生活相談員	1 (特養兼務)
介護士	4.1	介護支援専門員	1 (特養兼務)
介護福祉士	(4.1)	調理員	特養兼務

※人数は常勤換算により計算 () は再掲

○ ショートステイサービス利用状況

	入所実人数 (上段) / 延べ日数 (下段)							合 計
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	
R4年 4月		1	1	5	3	4	1	15
		1	24	40	45	81	29	220
5月		1	2	5	4	6	2	20
		2	7	27	53	108	31	228
6月		1	1	5	3	5	2	17
		4	4	27	26	99	31	191
7月		2	3	6	3	3	3	20
		10	33	41	31	59	32	206
8月			1	5	3	6	4	19
			4	27	27	107	38	203
9月		1	3	7	3	4	3	21
		6	9	29	24	76	39	183
10月			3	8	3	5	3	22
			36	58	24	76	39	233
11月			2	6	3	5	2	18
			25	50	28	71	14	188

	入所実人数（上段）／延べ日数（下段）							
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合 計
12月		1	5	6	4	2	1	19
		2	23	38	34	28	11	136
R5年 1月		3	2	7	5	3	2	22
		16	8	42	44	64	16	190
2月		3	2	3	5	3	1	17
		18	14	18	55	29	12	146
3月		4	3	4	4	2	2	19
		22	21	28	29	18	13	131
合 計	0	17	28	67	43	48	26	229
	0	81	208	425	420	816	305	2255



＊ ショートステイ利用の充足

- ・ 新規利用者数 16 件
- ・ 居宅サービス担当者会議出席 24 件
- ・ 新規利用前ミニカンファレンス 15 件
- ・ 緊急時のショートステイ利用の相談体制を整えました。
- ・ サービス担当者会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出席数	0	2	3	3	1	2	0	2	5	1	2	3	24

住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」が継続できるよう、丁寧なアセスメントを行い、個々のニーズに合ったサービスを提供できるよう努めました。身体機能（筋力）の維持・向上が図れるアクティビティや認知症予防を目的としたレクリエーション等のプログラムを取り入れ、楽しみながら心身の活性化が図れるよう支援しました。他事業所との情報共有・連携を密に取り、ご利用者・ご家族が安心して在宅生活が送れるよう、またコロナ感染症予防を徹底し、安心・安全なサービス提供に努めました。

《地域密着型通所介護・介護予防通所介護》

○ 職員配置（令和5年3月31日現在）

職名	人 数
管理者	1（特養兼務）
生活相談員	1
介護士	1
機能訓練指導員	1（特養兼務）
運転手	1

○ 定員及びサービス提供日時

- ①定 員 : 地域密着型通所介護＋介護予防通所介護 10名／日
 ②営業日 : 月・水・木・金曜日(12/31～1/3は除く)
 ③サービス提供時間 : 9:30～15:30

○ 提供サービス内容

- ①送迎 ②健康チェック ③入浴 ④食事 ⑤個々に必要な身体介護
 ⑥機能訓練 ⑦アクティビティ ⑧生活相談

○ 利用者状況（令和5年3月31日現在）

①年齢と性別 (人)

性別	年齢	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	合 計
男 性		0	1	2	0	0	0	3
女 性		0	0	1	2	1	3	7
合 計		0	1	3	2	1	3	10

②介護度区分 (人)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	0	0	4	5	0	1	0	10

○ 月別利用状況（延べ利用者数）

区分 月	要支援		要介護					利用者数	
	1	2	1	2	3	4	5	合計	1日平均
4月	0	0	14	26	0	6	0	46	5.1
5月	0	0	35	56	0	8	0	99	5.8
6月	0	0	33	60	0	9	0	102	5.7
7月	0	0	34	60	0	8	0	102	6.0
8月	0	0	26	56	0	9	0	91	5.1
9月	0	0	27	57	0	9	0	93	5.2
10月	0	0	30	40	0	8	1	79	4.6
11月	0	0	34	41	0	11	2	88	5.2
12月	0	0	34	43	0	13	2	92	5.1
1月	0	0	28	37	0	10	2	77	5.5
2月	0	0	31	43	0	11	0	85	5.3
3月	0	0	45	54	0	18	0	117	6.2
合計	0	0	371	573	0	120	7	1071	5.4

《ふれあい交流通所サービス（基準緩和型）》

介護を必要としない要配慮高齢者の生きがいづくりや閉じこもり予防、自立支援に向けてふれあい交流を中心としたサービスを提供しました。

○ 定員及びサービス提供日時

- ①定 員 : 10名／日
 ②営業日 : 月・水・木・金曜日(12/31～1/3は除く)
 ③サービス提供時間 : 9:30～15:30

○ 月別利用状況（延べ利用者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
要支援1	3	8	10	10	8	15	11	10	14	7	8	5	109
要支援2	0	0	0	2	4	4	4	4	5	3	4	5	35
合 計	3	8	10	12	12	19	15	14	19	10	12	10	144

《元気いきいき通所サービス（短期集中型）》

こけないからだ体操を実施することでADL、IADLを向上させ、地域での社会参加や個々の目標達成、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援を行いました。

○ 定員及びサービス提供日時

- ①定 員 : 10名/日
- ②営業日 : 火曜日(12/31～1/3は除く)
- ③サービス提供時間 : 9:30～12:00

○ 月別利用状況（延べ利用者数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	4	8	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	21
要支援2	2	3	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	16
合 計	6	11	11	9	0	0	0	0	0	0	0	0	37

○ サービス調整会議 ～ご利用者の満足の為に～

1回開催/月

* 事業全般のサービス向上

- ・身体拘束適正化
- ・事故防止
- ・感染症及び食中毒まん延防止
- ・褥瘡ケア
- ・衛生管理
- ・苦情対応
- ・広報・行事企画
- ・地域交流事業
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・各委員会活動報告

* 委員会・班活動

全職員参加による委員会及びチームを設置し、質の向上や課題への対応、新たな取り組みをすすめました。

- ・リスクマネジメント委員会
- ・アクティビティ委員会
- ・ケア向上委員会（排泄褥瘡予防・認知症ケア・看取りケアの3チーム）

※ 別紙3（委員会活動報告）

○ 組織強化

* 組織強化ミーティングの開催

毎月1回開催

社会保険労務士をコンサルタントとして、組織体制の強化、各部門の役割分担と連携、事業展開、地域貢献活動の構築等について検討を行いました。

- ・事業の方向性、各部門の役割と連携、経営者の果たす役割について
- ・組織体制の強化
- ・人材の確保、労働環境の整備
- ・人事評価システム

○ 「ワーク・ライフ・バランス」の推進 ～働き続けやすい事業所を目指して～

* 両立支援事業

- ・おかやま子育て応援宣言企業 登録 平成28年8月1日（登録証第28008号）
- ・津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業 認定 平成29年4月1日
- ・おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定 令和3年12月28日
- ・両立支援委員会 （委員16名）

職員が仕事と家庭の両立ができ、意欲的に働き続けられる職場環境について検討しました。

開催日	協 議 題	出席者
R4.6.7	HELLOBABYとの共催事業について 小学校教諭ボランティアの受け入れについて	12名
R4.7.29	HELLOBABYとの共催事業について 夏休み課題応援について	12名

- 子どもスタッフ

長期休暇等に子どもとともに出勤し、親の職場や仕事に触れる機会を作りました。勉強の時間と遊び、行事の手伝いなどの時間を分けメリハリのある生活を送りながら、施設内に明るい笑顔を広げてくれました。



- 夏休み課題応援ボランティア 8月10・11日

- こどもスタッフ出勤状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	2			2	1								5
延べ	2			6	10								18

- * メンタルヘルスケア（心の健康づくり）

- メンタルヘルスミニ講座 毎月1回

- ストレスチェックの実施

令和4年11月1日～11月30日 実施者 6名

結果について産業医と共有し、職員のストレスをサポートする体制を整えました。

- * ハラスメント対策の強化

- 職場におけるハラスメントを防止するため、事業所の責務、職員が遵守すべき事項を定め周知啓発を行いました。

マニュアルの作成、相談窓口の設置

- * 介護ICTの活用

- 生活改善～眠りスキャンを活用して夜間安眠へ～会議

R4.5.25	生活改善～眠りスキャンを活用して夜間安眠へ～	7名
R4.5.26	生活改善～眠りスキャンを活用して夜間安眠へ～	8名
R4.5.28	対象者の状態について	4名

- デジタルトランスフォーメーション委員会

開催日	協議題	出席者
R4.5.26	ICTを活用して暮らしをよくしよう 生活改善	12名
R4.6.8	生活改善実践入居者、1日の様子について	10名
R4.6.22	生活改善実践入居者、1日の様子について	9名
R4.7.1	生活改善実践入居者、日課表と睡眠日誌	9名
R4.7.12	生活改善実践入居者、日課表と睡眠日誌	13名

- * テレワークの実施

多様な働き方の実現と感染症対策をしながら働き続けられる環境整備を行い、在宅勤務を中心としたテレワークを実施しました。

- 厚労省「テレワークコンサルティング」の活用 年2回



○ 職員研修システム

法人内における研修

- * 各分野における研修

研 修 会 名	開催日	講 師	参加人数
緊急時の対応と看取り加算	R4.8.24	看取りケア委員会	参加者25名 レポート63名
虐待防止研修（Web）	R3.8.23		参加者12名
虐待防止研修	R4.10.31 11.9	Solution課長	参加者55名 レポート68名
リスクマネジメント研修	R4.11.30	リスクマネジメント委員会	参加者16名

研 修 会 名	開催日	講 師	参加人数
認知症ケア研修	R5.2.8	Solution課長	参加者24名 伝達研修41名
身体拘束適正化・虐待防止研修	R.5.34～20	動画視聴	レポート 70名

＊ 新任者研修

開催日	主な研修内容	時間(分)	講 師	参加人数
R4.4.1 ～5.30 延18日間	オリエンテーション・グループワーク	220	部長・局長	8名
	法人理念、岡山県の社会福祉	30	理事長	
	高齢者の暮らし、生活の支援・住環境整備 身じたくの介護、入浴介助、排泄の介助 生活の中の危険、衣類の着脱、睡眠の介護等 介護ICTの活用、リフト操作 ノーリフティングケア、ユニットケア 24hシート、施設のルール・設備他	1,545	介護士長 エトリナー他	
	心と体のしくみと健康、感染対策、 コロナ対策、PPEの扱い方 緊急時対応、認知症の理解、嚥下の理解 高齢者に生じやすい疾患、終末期の理解等	945	看護師長 看護師	
	就業規則、事業計画、教育体制と評価、 コミュニケーション、記録 身体拘束適正化、虐待防止	720	施設長	
	社会の理解、自立と尊厳 介護過程の展開（講義・演習） 認知症ケア、ハナスト・ケアカルテ 安全な介護、事故防止	1185	Solution課長	
	多職種連携、ケアプラン	120	介護支援課長	
	ICF、リハビリテーション、安全な暮らし	240	作業療法士	
	口腔ケア	120	歯科衛生士	
	介護技術	1,080	作業療法士	
	食事の理解、栄養マネジメント	90	管理栄養士	
	お花見イベント(入居者との関わり) ユニット滞在、振り返り等	585		
	総時間数（18日間）	6,880		

＊ 外部研修

認知症介護基礎研修、感染症対策研修会、虐待防止等ケアのスキルアップに資する研修を対面、オンライン等で受講をしました。

※ 別紙3（研修等一覧）

○ 第三者委員会の開催

本事業所に対する入居者、家族等からの苦情に適切に対応する体制を整えるため第三者委員会を設置しています。年度内の苦情の受付内容と、事故の内容・件数等の報告を行い助言をいただきました。

開催日：令和4年6月24日（金）

出席者：第三者委員、理事長、施設長、事務局長、在宅部長、事務局次長、看護師長、
介護士長、介護士主幹、介護支援専門員、作業療法士、相談員

内 容：苦情の内容及び対応について、事故報告について

第三者委員：弁護士、サンシティうぐいす施設長、津山福祉会監事

安全管理

○ 感染症・食中毒の予防及びまん延防止

* 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染予防として職員への感染防止策の周知及び研修、職員、入居者へのワクチン接種、家族への感染対策と在宅サービス受け入れ時の注意事項、家族の面会、ボランティアや実習生の受け入れ等について協議し実践と協力依頼を行いました。

・ 新型コロナワクチン接種

4回目 令和4年8月～

5回目 令和5年1月～

・ 厚生労働省等が発出するガイドライン等の周知と感染予防

・ 職員への研修や訓練の実施（別掲）

・ 入居者、利用者への日々のバイタル測定の実施

・ オンライン、窓越し面会の実施

・ 備蓄品、検査キットの整備

・ 環境整備、換気の実施

* インフルエンザ対策

・ インフルエンザ予防接種

令和4年10月21日～10月27日

令和4年10月21日、26日、27日



全職員 70名

入居者 69名

○ 防災対策

* 自主組織による防災訓練の実施

実施日	避難訓練・講習等	講師・協力	利用者	職員
R4.5.24	消火訓練・避難訓練(夜間想定) ・ 消火用散水栓放水・消火器による消火訓練	(株)ガット2名	1	15
R4.11.4	消火訓練・避難訓練(夜間想定) ・ 消火用散水栓放水・消火器による消火訓練 ・ 夜間における安全で迅速な避難誘導の実践	(株)ガット2名	0	25

居室等の電気設備点検

月1回

備蓄品（飲料水・食品等）の確保と管理

* 福祉避難所の整備

津山市から「災害時に要援護者の福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」に基づき災害時拠点として福祉避難所の指定を受け、緊急時に備えました。

○ 事故防止・リスクマネジメント

- 事故防止と身体拘束適正化の取り組みを行い、安心して生活できる環境づくりと自立の支援に努めました。事故発生防止と再発防止を適切に行うため、安全対策担当者を配置し、ユニットや専門職、多職種協働のカンファレンスを行い、多様な視点で事故の要因を探り事故の再発防止に努めました。また、ユニット内で起こった事故は、全ユニット、スタッフに伝達し、事故内容・対応策を共有する事で事故防止を働きかけました。
- 入居者の自立した生活の支援のために必要な事項、取り組みの状況をユニット間で共有し、課題の解決に向けて協議しました。入居者の状態変化に伴うカンファレンス、事故発生後の再発防止カンファレンスを随時開催しました。安全対策担当者を交えたカンファレンスでは、なぜなぜ分析を活用して、真の原因を究明して問題を解決を図り再発防止に力を入れました。

- ・ 事故件数：65件

事故内容	件数	事故内容	件数	事故内容	件数
転倒	5	表皮剥離	1	紛失	1
転落	5	骨折	2	手続き	15
配薬・服薬などの誤り	13	バルンカテーテル抜去	2	その他	19
誤嚥	1	一人で園外へ行く	1	合計件数	65

- ・ 事故後カンファレンス回数：59件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計事故数	7	6	3	4	1	5	4	9	9	6	7	4	65
特養	5	6	3	3	1	4	2	7	4	4	5	3	47
短期	1			1		1	1	2	5	2	2	1	16
デイ	1						1						2
カンファレンス	8	4	2	3	0	1	4	9	5	12	8	3	59
特養	3	2	2	1		1	2	7	4	7	8	2	39
短期	5	2		2			2	2	1	5		1	20
デイ													0

○ 身体拘束適正化と虐待防止

- ・ 利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束をしないケアの実施に努めました。
- ・ 第三者が違和感を感じるケアについて声を出し合い、不適切なケアを振り返るきっかけを作りました。見て見ぬふりをせず、お互いを思いやるチーム作りをしました。
 - ・ 委員 施設長、事務局長、在宅部長、看護師長、介護士長、介護支援専門員、相談員、作業療法士、管理栄養士、通所管理者
 - ・ 委員会 毎月1回開催 ・ 研修会の開催（別掲）

○ 介護ICTの推進

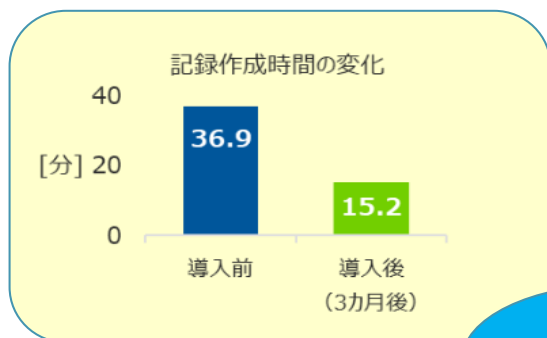
新たなICT機器（生態モニタリング機能を持つ見守りセンサーとモバイル・音声入力対応の介護記録システム）の導入と全館にわたるWi-Fi環境の整備を行い、介護業務の効率化を図るとともに、多様な職員の働きやすさと入居者の個々の生活リズムに合わせたケアの実現を目指しました。

高寿園 D X

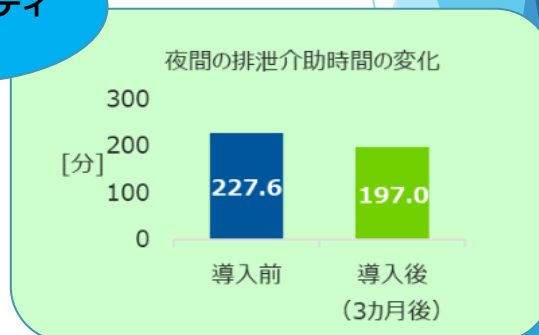
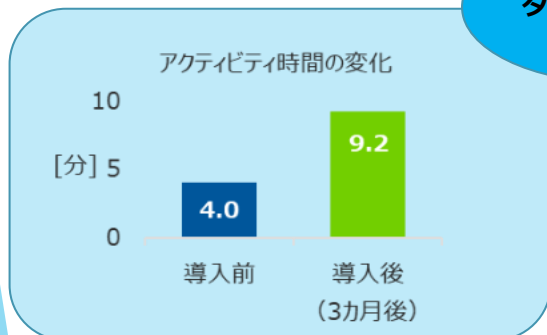
～ 介護ロボット・ICT導入のイメージ ～



- ・ タイムスタディによる効果検証



タイムスタディ



生活改善の取り組み ～アクティビティの充実～

全体でのアクティビティ



音楽の会



書道クラブ



カラオケ喫茶

介護ICTの導入による効率化で生まれた時間を活用し、音楽療法による集団療法、アクティビティ委員会、専門職による集団アクティビティを実施しました。

○ 高寿園SDGsの取り組み

キャッチフレーズ 「小さな変化を楽しむ」

目標

- 1 地球環境や社会の課題に求められる「責任ある行動」をもつ職員が育ち、サステイナブルな福祉経営を実現します。
- 2 サステイナブルな取り組みを企画実施していくことから、住み続けられる街づくりを実行できるような力を持ちます。
- 3 誰もが喜びを分かち合い生き活きと暮らす地域共生社会の実現へ多種多様な文化・価値を尊重し、理解し合い、差別をなくすなど、様々な立場の人の声に耳を傾け、ニーズを理解して、一人ひとりが実践できることを考えます。

・エコキャップ運動

ペットボトルのキャップ回収ボックスを設置し、集まったキャップをエコキャップ推進協会に送付しました。

12,286個 CO2の削減 211.27kg

・フードロスなくそう

「食品ロス削減月間」を中心に、食品を無駄にしない・作りすぎない・買いすぎないことを周知し食品ロス削減の啓発を行いました。

・節電の取り組み

クールビズやウォームビズを推奨し節電に努めました。

○ 広報活動

入居者・利用者のお過ごしの様子、スタッフの取り組み等、イベントの紹介や日常の様子の発信を随時行い、広く高寿園を知っていただけるよう広報活動に努めました。

- ・ 高寿園だよりの発行 2回/年
- ・ ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新 随時
- ・ 研修等講師、外部団体のイベント等への派遣、参加
- ・ キントーンを活用し、クラウド上に入居者個々のアルバムを作成し複数の家族に閲覧いただける仕組み「自分ページ」を公開しました。

○ 介護・看護

* 特養介護

入居者一人ひとりに満足・安心していただけるように、心身の状況、性格、適応性、理解力等を正確に把握するよう努め、施設サービス計画書（ケアプラン）に基づく統一されたケアの実施に努めました。また日常生活を記録して職員間で共有し、支援目標やケアの見直しを行うなど、より適切なケアを追求しました。

暮らしの継続を基本とするケアを目標に、入居者の気持ちを尊重した関わりを行い、長引くコロナ禍にて直接お会いする場面が少ない中、電話連絡などでご家族との連携を心掛けました。個別ケアの充実を図るため24Hシートの更新を行ない常に適切なケアを提供しましたが、24Hシートの内容充実には、課題が多く残りました。

清掃についての意識を高め、心配りが心磨きである事の浸透に努めました。清潔な環境の中で居心地の良い暮らしと働きやすい環境を作りました。

リフトの更なる活用にて、ケアの質を高め、個々のQOLの向上を図りました。また、介護士の人員の確保が厳しい中、職員間の連携を図りチームワークを高めてケアを提供しました。コロナ災害時の対応に限らず、ユニットを超えて施設全体でケアが実施できるような体制作りも行いました。

コロナクラスターの発生では、感染対応の実践にて基本的な感染対策が習得でき、日々の感染対策につながりました。

* 入居者が望む生活の実現と個別ケアの実施

入居者をお迎えする段階から、アセスメントを十分に行い、その人らしさを追求したケアを検討しました。

入居後は多職種が連携して、ケアプランに基づいたケアを展開しました。

毎月の「生活のご様子」をご家族へ発送しました。

＊ 入居者一人ひとりのかけがえのない生命の確保

水、食事、排便、運動を基本として、介護の専門職として根拠に基づいたケアを実施しました。

- ・ 一日1,500～2,000cc以上の目標を設定して、個々の嗜好や個別の時間帯や量を把握して、目標達成できるよう工夫をしました。
- ・ 自然な排便が行えるように、センナ茶を飲用して薬剤に頼らないケアを行いました。
- ・ 食事の常食化への移行と維持に取り組みました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均水分量	1398	1182	1136	1147	1202	1265	1211	1145	1175	1165	1135	1138

＊ 入居者が意欲を持ち生きる喜びを感じてもらえる支援

食事目的の離床にとどまらず、日中のアクティビティをユニット単位で工夫しました。生活の中で楽しみを見だし生きる喜びや意欲につながる支援を行いました。また、ユニットの外での入居者間や職員との交流の場を作りました。

- ・ ユニット外へのお出掛け
- ・ サンプルームでのカラオケ
- ・ 施設全体の行事に向けての作品出展
- ・ ユニット体操
- ・ 個別アクティビティメニュー作成と実施



＊ 入居者が意欲を持ち生きる喜びを感じてもらえる支援

食事目的の離床にとどまらず、日中のアクティビティをユニット単位で工夫しました。生活の中で楽しみを見だし生きる喜びや意欲につながる支援を行いました。また、ユニットの外での入居者間や職員との交流の場を作りました。

- ・ とくし丸（移動スーパー） 毎週金曜日
- ・ ポエムパン（移動販売） 毎週水曜日
- ・ ヘアサロン（理美容師の訪問理美容） 月2～4回
- ・ ナンバホームセンター 毎月第4土曜日

《ヘアサロンの利用状況》

	カット	パーマ	カラー	顔そり		カット	パーマ	カラー	顔そり
4月	14	0	1	0	11月	22	0	1	0
5月	35	0	0	0	12月	29	1	0	0
6月	31	1	1	0	1月	20	0	1	1
7月	28	0	2	1	2月	21	0	0	0
8月	29	0	0	0	3月	24	0	2	0
9月	21	1	1	0	合計	306	3	9	3
10月	32	0	0	1					

昨年に続きコロナ禍で面会に制限があり、入居者、ご家族、スタッフそれぞれに苦しい1年でした。感染を回避しつつ面会の手段を最大限に工夫して検討していきました。ライン面会、zoom面会、窓越し面会など、感染状況に応じて対策、対応していきました。

《面会者の状況》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	35	49	68	56	47	22	36	29	20	45	56	479

《オンライン面会者の状況》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	1	2	1	0	3	7	4	4	7	5	36

- * ユニットリーダー同士が課題を共有したり、取り組みの進捗について情報交換することで、全体的なケアの方向付け（ケアの理念に基づくケア）ができ、各ユニットに持ち帰って施設全体の浸透に努めました。

- ・ ユニットリーダー会議 毎月1回開催
- ・ ユニットミーティング 2ユニット毎 随時

- * ユニットケアの充実に向けた取り組み

自立支援を基本とした個別ケアを実施しました。

- ・ 24Hシートの作成、更新、基づくケアの実施
ケアの中で変化に気づき、タイムリーな更新を行ないケアの向上に努めました。

※ 別紙2（ユニット報告）

- * ショートステイ

- ・ コロナ禍でのショートステイ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、家族にも体調チェック等をお願いしながらサービス提供を継続しました。また、家族等が感染確認地域に往来しなければならない等、一時避難的な一定期間のご利用に対応しました。

- ・ ユニットケアのショートステイ

ショートステイユニットでは、家庭での生活が継続できるように、お一人おひとりの状態の把握に努めて個別のケアを行いました。本人はもちろん、家族の思いにも応えられるように、ユニットスタッフが連携してきめ細やかなケアを提供しました。

すべてのご利用者が、心地よい空間で安心して過ごされるように、お部屋の清掃は徹底して行いました。また温かい声掛けと関わりを心がけました。

生きがいややりがいを感じ、来園時より心も体も元気になって帰っていただけるようなサポートに努めました。

- ・ ショートステイ利用中の介護

家庭での生活が継続できるように、利用前からの状態の把握と利用中の状態を観察して、適切なケアの実施に努めました。ご家族との連携を大切に、退所時に日々の暮らしの記録をお渡しする事と細かい伝達や相談、ケアの提案を行い、家族と共にご利用者を支えられるように努めました。家庭を離れて生活をされる中で、暮らしに楽しみを持ち、やりがいを感じていただけるように、アクティビティを充実させました。

安全の確保の為に、危険を予測してケアを工夫しました。事故が起こった場合は、原因を追究して適切なケアを検討し、事故の再発防止に努めました。ご利用中に、ご要望をうかがい、ご満足を追求してサービスの質を高めています。コロナ禍にて長期間ご利用される方が多い傾向にあり、ご利用中にご家族に電話をして状況を報告したり連携を密にしました。

- * 特養看護

入居者の多くが複数疾患を持ち、高齢化と共に身体状況が重度化しています。日常の健康観察をこまめに行い、医療機関の協力を得て疾患の早期発見ができるよう健康管理に努めました。各職種と連携して状態を把握し、残存機能を最大限に活用できるよう援助しました。施設内感染症対策、食中毒の予防等、日常生活における環境衛生の保持に努めました。褥瘡ゼロの実現に向けたケアに努め、改善しました。高齢者の栄養状態、体力低下などの影響に対するアプローチ等に課題が残りましたが、引き続き褥瘡ゼロに向けてケアを継続していきます。

- * 健康管理

健康で苦痛のない日々を送れるように一般状態のチェックを行い、医療機関への報告、受診を速やかに行いました。

- ・ 健康診断 職員（パートを含む全員） 令和4年5月～7月 80名
夜勤職員 令和5年2月 20名

- ・ 手浴・足浴

手浴・足浴（フットケア）をすることで、循環不全を予防し、四肢末端への血流改善につながるなど体調を整えるために実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	3	15	18	7	3	13	5	5	10	9	24	26	138

＊ 施設での医療

重度化、高齢化が進んでいます。入居者の状態観察を行い、異常があれば早めに医療機関の受診をしています。夜間の対応も含まれています。

内科的な疾患だけではなく、専門病院への受診もありました。

※ 施設内月別治療状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	557	531	519	619	630	450	453	504	480	484	355	518	6,100
内科	1,369	2,173	2,289	2,288	2,262	2,176	2,197	2,097	2,180	2,200	2,133	2,119	25,483
眼科	240	106	275	310	310	300	279	240	240	56	80	93	2,529
皮膚科	600	620	719	744	744	720	558	598	598	598	420	465	7,384
歯科		7	11	1	1	1	7	13	11	11	17	17	97
医師来診	4	8	6	7	7	9	11	13	10	8	7	7	97
医師特診	8		3		3	4	2	1	4	1	6	4	36
経管栄養	120	124	120	124	124	120	124	129	150	155	140	155	1,585
留置カテーテル	2	2	2	3	3	3	3	3	3	5	5	18	52
救急手当て	120	45	44	45	46	53	46	24	102	29	53	69	676
定期与薬	2,177	2,378	2,339	2,390	2,327	2,139	2,180	2,148	2,158	2,214	1,964	2,149	26,563
その他薬	210	236	284	262	236	172	194	180	240	223	250	329	2,816
血圧測定	78	161	161	133	188	163	155	157	114	149	134	146	1,739
検尿		6	6	5	5	1							23
検便													0
血液検査	155	9	9	9	5	43	83	8	8	68	68	8	473
レントゲン	13	11	11	11			40	1	1	1	1	1	91
リハビリ	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
終末処置	1		1		2	1	1	1	3	1	4	3	18
合計	5,666	6,429	6,811	6,963	6,905	6,367	6,345	6,129	6,314	6,215	5,649	6,113	75,906

＊ ショートステイ利用中の看護

ショートステイ利用中も在宅での療養等が途切れないよう、ご家族、主治医、ケアマネジャー等と連携してご利用者の健康の保持に努めました。

また、予防接種の推奨、水分補給の重要性等をご家族と共有し、在宅・ショートステイの切れ間ない支援に努めました。

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
内科	78	268	228	263	228	207	258	196	136	202	163	132	2,359
眼科	18												18
皮膚科	50	62	53	58	33	31	30	30	4	4	4	4	363
定期与薬	223	231	189	232	195	179	232	184	134	192	144	136	2,271
その他薬	17	24	19	23	29	22	23	14	10	10	8	3	202
合計	386	585	489	577	486	440	544	425	285	409	320	276	5,222

※ 施設内治療内訳

科目	治療内容
外科	ガーゼ交換（一般傷、褥瘡）湿布
内科	臨時与薬、酸素吸入、内科的治療注射、吸引、吸入、貼付薬
眼科	点眼、軟膏塗布
皮膚科	軟膏塗布
留置カテーテル	膀胱洗浄、経管栄養、バルーンカテーテル交換
救急手当て	気道確保、応急処置
その他与薬	緩下剤、浣腸、臨時与薬

※ 施設外受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼科	1	3	1	1	1	1	1	1	2		1	1	14
皮膚科	4	7	4	1	1	3	3	6	2	2	1	2	36
歯科	1	6	4	1		2	4		4	3	1		26
精神科			1	2	1						1		5
泌尿器科	4	2	3	3	4	2	3	4	6	4	3	5	43
内科	14	11	6	6	7	12	7	3	7	5	4	6	88
外科				1			1	2		2	3		9
脳外科	1	2	2								1	1	7
形成			1	3	2	1	2		1		1	1	12
整形外科	2	2	1	2			2	2	1	1	2	1	16
合計	27	33	23	20	16	21	23	18	23	17	18	17	256

※ 入院の状況

	入院理由	人数	入院延日数		入院理由	人数	入院延日数
4月	右大腿骨骨折	1	4	9月	肺炎	1	30
	腎盂腎炎	1	30		肺炎・心不全	1	15
	尿路感染症	1	7		右大腿骨頸部骨折	1	13
	左大腿骨転子部骨折	1	28		敗血症・胆管結石	1	8
	心不全	1	24		腎盂腎炎	1	4
	コロナ治療	7	65			1	7
5月	腎盂腎炎	1	8	10月	アルツハイマー型認知症	1	30
	左大腿骨転子部骨折	1	23		アルツハイマー型認知症	1	22
	心不全	1	22		右大腿骨頸部骨折	1	33
	コロナ治療	1	2		敗血症・胆管結石	1	13
	肺炎	1	10		腎盂腎炎	1	24
	尿路感染症	1	20		尿路感染症	1	20
	精査目的	1	23	11月	尿路感染症	1	15
6月	左腸腰筋膿瘍	1	3		胆のうがん・閉塞性黄疸	1	12
	尿路感染症	1	7	12月	脱水・低栄養・イレウス	1	11
	精査目的	1	7	1月	脱水・低栄養・イレウス	1	5
	左腸腰筋膿瘍	1	30		左大腿骨骨折	1	16
	尿路感染症・骨折	1	6		胸水	1	10
	小腸壊死・OP	1	7		誤嚥性肺炎・胸水・腹水	1	7
	胆のう炎・胆石・総胆管結石	1	3		心不全	1	21
7月	小腸壊死・OP	1	31	2月	心不全	1	27
	胆のう炎・胆石・総胆管結石	1	6		検査入院	1	2
	肺炎	1	26		左大腿骨頸部骨折	1	12
		1	24	3月	左大腿骨頸部骨折	1	10
8月	小腸壊死・OP	1	15		脱水	1	
	肺炎	2	25				
	肺炎・心不全	2	10				
		1	31				
	アルツハイマー型認知症	1	2				
				合計		62	866

日々の心身状態の観察と状態把握の共有を図り、サインを見逃さないようにユニットに指導を行いました。

- * 夜間オンコールマニュアルの作成を行い、介護スタッフから夜間の報告がスムーズにできるようにしました。適確な報告を受けて、看護師は応急的な手当てを伝えることができたと思います。

* 看取りケア

多職種協働で入居者が最期に何を望んでいるかを考える場を設けました。最期の時まで経口摂取が実現できるようケアをしました。

- 入居者が自分の部屋でご家族・職員に見守られながら旅立ちができるように援助しました。
- 入居者が痛みの訴えなく自然に穏やかな旅立ちができるように、関わりを継続しながら細やかな対応を心がけることで旅立ちの前の不安を取り除く一助としました。
- 看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を共有するカンファレンスを行いました。ご家族も参加され、揺れ動く思いやご希望などを職員と共有することで悔いの少ない看取りを行うことができました。

* グリーフケア

旅立ちの後、ご遺族とともに故人を振り返る機会を持ちましたが、コロナの流行で少ない機会となりました。ユニットの職員、専門職がご遺族とともにそれぞれの故人の思い出を語り、近親者を失う喪失感や心の痛みに寄り添いその軽減に努めました。ご遺族だけではなく、スタッフもケアを振り返ることができ、互いに気持ちが穏やかになりました。看取り期から退居の日まで、細やかなカンファレンスや情報共有を行うことで、最期の日までご家族と協力してケアをすることができ、故人が旅立った後の心の負担の軽減ができたように思います。

《看取りのカンファレンス》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者				1							1	1	3
回数				1							1	1	3
出席者				11							8	8	27

《グリーフケア～振り返りのカンファレンス》

	出席者	回数	参加者数(延)
8月	家族・施設長・看護師長・相談員・管理栄養士・作業療法士・介護士	1	9
9月	家族・施設長・看護師長・介護支援専門員・相談員	1	8
10月	家族・看護師長・介護支援専門員・相談員・作業療法士・管理栄養士	2	14
11月	家族・看護師長・介護支援専門員・相談員・作業療法士・管理栄養士・介護士	2	13
合計		6	44

* 口腔ケア

「口から全身の健康を守ります」

- 口から全身の健康管理につながるような口腔ケアの提供を行いました。
- 口の中の清潔を保ち、感染予防を行いました。
- 口からいつまでもおいしく食べるための機能の維持と向上をはかりました。

歯科衛生士による入居者アセスメント件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	0	127	156	56	101	82	135	80	36	45	62	60	940
実施日数	0	7	9	6	7	6	7	8	4	5	7	7	73

○ ケアマネジメント

その人らしい穏やかな生活実現のために～多職種協働

- ・ご本人・ご家族の意向をくみいれて、ご本人がご本人らしく、穏やかな日常生活を送れるように、施設サービス計画書を作成しました。
- ・体調維持、身体機能の維持・向上、日常生活のなかでの楽しみや生きがい等を考慮して作成しました。
- ・毎月開催するユニットケア会議では、各専門職参加のもと、サービス担当者会議を開催して、多職種間で協議しました。入居時はご家族が出席されて会議を開催しました。
- ・定期的なモニタリングを行い、入居者の状況や支援の実施状況を把握しました。

令和4年度 サービス担当者会議開催状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期	7	7	12	9	7	7	4	9	5	8	10	6	91
入居	0	3	3	1	0	0	4	1	5	1	2	5	25
退院	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	5
看取り	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	2	3	7
ショートステイ	0	1	3	3	2	2	1	1	2	3	1	3	22
合計	9	11	19	13	10	9	0	12	13	13	15	3	150

・認定調査立ち合い件数…33件

○ 生活相談援助

入居者・ご家族の不安やご要望を真摯に受けとめ、サービスの向上に寄与するよう、法人内専門職種の連携に努めました。

入居者の権利擁護に努め、その代弁者としての役割を果たすよう努めました。

地域福祉の拠点としての施設を念頭に、地域の福祉の向上に努めました。

医療・保健・福祉、行政、地域組織等、関係諸機関との連携の強化に努めました。

待機者へのアプローチにおいては感染対策に十分留意し、正確な情報収集、適切な入居対応に努めました。

* 入居者・ご家族の生活相談援助

- ・新規入居者のご家族と密に連絡をとり、不安なく入居ができるよう努めました。
- ・話しやすい雰囲気づくり … 気兼ねなく話ができるよう環境にも配慮しました。
- ・個別でお部屋に訪問して話を伺い、それぞれの「暮らし」が継続できるよう努めました。
- ・入居時や退院時等、他機関、病院からの情報をご家族とも共有し、環境変化に伴う不安の軽減に努めました。

* 入居待機者へのアプローチ

入居検討会議の開催	9	回
待機者面接	29	件
入居申込件数	53	件
入居説明・調整	28	件
入居前カンファレンス	18	回

《 待機者状況 》 R5.3.31

要介護度別

要介護度	人 数
要 介 護 1	1
要 介 護 2	2
要 介 護 3	11
要 介 護 4	11
要 介 護 5	11
更新中・未確定	3
合 計	39

居所別

居 所	人 数	居 所	人 数
在 宅	16	小規模多機能	2
老人保健施設	3	グループホーム	3
有料老人ホーム	1	入院	14
合計		39	

＊ ショートステイの相談援助

- ・ 新規利用者数 16 件
- ・ 居宅サービス担当者会議出席 24 件
- ・ 新規利用前ミニカンファレンス 15 件
- ・ 緊急時のショートステイ利用の相談体制を整えました。
- ・ サービス担当者会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出席数	0	2	3	3	1	2	0	2	5	1	2	3	24

○ 生活の中の機能訓練

日常生活の中で、ご自身が持つ心身機能を生かし、安心した生活が送れるよう支援しました。ポジショニングの検討やシーティングの検討を行い、安楽に過ごせるよう工夫しました。定期的に身体機能や日常生活の評価を行い、お一人お一人に合った計画書を作成しました。計画書に基づいてリハビリ会議を行い、多職種間で協議し、協働して行いました。

・ リハビリ会議の開催

入居者 リハビリ会議 299件
 入居時 リハビリ会議 27件
 状態変化（ターミナル、骨折など）による計画書作成 10件 合計 336件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	23	22	26	24	26	29	21	25	29	24	25	25	299
入居時		3	3	1			4	1	5	1	3	6	27
状態変化		1	1	1	1		2	1			1	2	10

・ グループ活動の実施

①長寿の会

長寿の会は体力維持と入居者同士の交流を図る目的で、こけない体操の簡易版や口腔体操、茶話会をおこないました。毎週の会を楽しみにされ、活動性の向上につながりました。2グループを週1回づつ（月曜・火曜）行いました。



時間：13：30～15：00 実施回数：40回 参加者：延べ221名（平均5.5人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	6	19	12	14	21	18	19	31	29	12	18	22	221
実施回数	1	3	2	2	3	3	5	5	5	2	5	4	40

②ハッピークラブ

生活改善の取り組みをきっかけに、R4.6月より、集団レクリエーションを行いました。4ユニットごとに平均して月に1回実施しました。楽しみながら体を動かし、心身の刺激となるよう実施しました。

時間：14：30～15：30 実施回数：20回 参加者：延べ300名（平均15名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数			99	18	44	36	28	35	12	0	0	28	300
実施回数			6	2	3	2	2	2	1	0	0	2	20

・音楽の会

楽しみながら情緒の安定を図る、呼吸機能の向上を目的として音楽活動の支援を行いました。
実施の際 下記の点に留意しました。

- ①その日の様子に合わせた活動量で実施しました。会の始めにお一人ずつウインドチャイムを
鳴らしていただき当日の様子をアセスメントし、質的・量的なプログラムの変更を行いました。
- ②楽器を使用し呼吸を合わせリズムが揃うことで他者との一体感が感じられるよう支援しました。
- ③個々の覚醒を促す為、発声練習を中心にプログラムを考えています。また手指の体操を童謡や
唱歌を歌いながら行い、それぞれの記憶の中から歌詞を思い出して頂いています。季節に合わ
せた歌を用いて回想を促し皆さんの記憶の扉を開き、それぞれの貴重な体験をお聴きしながら
発語が増すように支援を続けています。

実施回数： 374回 参加者：延べ 4221名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数		50	266	468	512	485	423	426	376	455	367	393	4221
実施回数		7	27	42	46	46	38	36	30	38	30	34	374

○ 栄養管理

お一人お一人の栄養状態や食事摂取状況に応じた個々の栄養ケア計画に基づき、入居者の健康の保持増進に努め、低栄養の改善、予防、安全で衛生的な食事の提供ができるよう努めました。

* 給食状況 (R5.3.31)

主食状況	人数	副食状況	人数	療養食	人数
ご飯	21	常食	16	糖尿食	5
粥	37	粗キザミ	11	心臓高血圧食	3
ムース	10	キザミ	6	減塩食	2
経管栄養	5	ソフト	21	肝臓病食	1
		ゼリー	14		

◎食事と経管併用の方1名

* 行事食等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行事食	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	14
希望食			1		1		1		1				4

- ・4月のお花見では、花見弁当を作成しました。外で桜を眺めながらお食事を楽しめました。入居者同士の笑顔が多く見られました。
- ・6月にパウンドケーキ、7月にフルーツポンチ、10月にスイートポテト、12月にババロアを作成し、季節を感じられる手作り菓子を提供しました。
- ・1月のおせちでは、皆さん笑顔でいつもよりお食事が進んでいました。

* 1人1日当たり給与栄養量

	エネルギー	タンパク質	カルシウム		エネルギー	タンパク質	カルシウム
4月	1437	55.8	666	10月	1392	55.5	659
5月	1430	55.5	660	11月	1383	55.6	694
6月	1378	55.6	669	12月	1390	55	665
7月	1368	55.2	680	1月	1388	56	699
8月	1397	55	683	2月	1379	54.1	650
9月	1391	54.7	648	3月	1373	54.2	670
基準値(4.5月)	1456	42.2	522	基準値(6~3月)	1382	51.9	495

※ 基準値は日本人の食事摂取基準2020年版に基づき算出しています。

※ 6月以降は、日本食品標準成分表2020年版(八訂)に基づき算出しています。

＊ 残菜調査

入居者の食事摂取量や食嗜好を把握し、今後の献立作成への活用や、イベント時の食事提供の参考にするため、2ユニット毎1週間ずつ残菜調査を行いました。朝食・昼食・夕食時に毎回主食と副食の残量をそれぞれ計量しました。麺類やカレー、散らし寿司などの変わりご飯の日は残食率が低い傾向にありました。

実施日： 11月1日～28日

ユニット3・4から順次1週間ごとユニット9・10まで調査実施

＊ 栄養ケアマネジメント

栄養ケアマネジメントにより入居者の栄養状態をリスク別に振り分け栄養状態の改善・予防に努めています。

低栄養状態のリスク判断材料として、体重（BMI）・血液検査（アルブミン）・喫食率・褥瘡・栄養補給法などの項目があります。

《栄養ケア会議》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	23	22	31	24	24	29	21	24	29	24	26	25	302
入居時	0	2	3	1	0	1	4	1	5	1	3	6	27
状態変化	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	3	7

・ 食形態別低栄養状態リスク判別（R5.3.31）

	常食	粗キザミ	キザミ	ソフト	ゼリー	経管栄養	絶食	合計
低リスク	8	7	3	10	8	0	0	36
中リスク	8	4	3	8	6	4	1	34
高リスク	0	0	0	3	1	0	0	4

・ 高リスク判定内訳（R5.3.31）

	体重減少	血清アルブミン	褥瘡
	2	0	2

・ 栄養補助食品使用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高カロリージュース	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	26
高カロリーゼリー	4	4	4	3	1	2	2	2	1	1	1	0	20

・ 栄養補助食品使用の目的（R4.3.31）

補助食品のタイプ	カロリー保持	体重低下
高カロリージュース	2	0

○ 地域福祉の推進と地域連携

＊ 運営推進会議の開催

津山市北部地域の福祉活動に関わる機関・団体の代表者への活動状況の報告や情報交換を通して、地域に開かれた事業運営及びサービスの質と地域福祉の向上を目的として運営推進会議を開催しました。

委 員：町内会長、民生委員、老人クラブ、愛育委員、消防団、公民館、地域代表

入居者家族、法人理事 11名 オブザーバー 津山市

開催日	内容	出席者
R4.7.13	令和3年度事業報告 高寿園地域福祉事業について 地域密着型通所介護事業について 地域課題について意見交換	委員 9名 職員 5名 法人役員 5名 市役所 1名

＊ 送迎付き買い物サロン「ここ楽！@こうじゅえん」

新型コロナウイルス感染予防に努めながら、地域の高齢者の健康増進と交流の場としてサロンを開催することができました。

開催日時： 毎月第4土曜日
10:30～15:00

場 所： 高寿園
地域センター



参加者数

開催日	参加人数	備 考	開催日	参加人数	備 考
R4.5.28	8		R4.10.22	10	
R4.6.25	11		R4.11.26	12	手作り定食
R4.7.23	11	ふまる	R4.12.17	10	手作り定食
R4.8.9	9		R5.2.25	13	
R4.9.24	12		R5.3.25	10	
			合計	106	

《活動内容》

こけないからだ体操、マルシェでの買い物、昼食をとりながらの団欒、フリータイム（ペットボトルボーリング、風船バレー、ベンチサッカー、カーリングゲームなど）

＊ マルシェ

マルシェを開催することにより他年代の交流の場としての機能を果たし、“より身近な”地域の集いの場へとつながりました。サロン参加者だけではなく、地域の方のご来場も多くありました。

マルシェ協力店	
・パン工房エビ ・ナンバホームセンター ・マダムアツコ ・早瀬豆腐店 ・ボン菓子ボンちゃん ・あっちゃんの大きな木 ・笑てん会 ・山シュー	・GATTO ・NK ・ごはんどころ ガリ ・家庭食堂ROOF ・キッチンかまちゃん ・リバード ・ドライブイン高倉

＊ 満足度調査アンケートの実施

ここ楽およびマルシェについて、サロン参加者にアンケートを実施しました。（無回答を含む）

回答者数	
男性	2
女性	11
合計	13

施設送迎利用者
7

【ここ楽について】

問1.ここ楽に参加してみようと思った理由に○をしてください。（複数回答可）

回答数	
6	①他人との交流がしたかったから
7	②外に出るきっかけがほしかったから
8	③体を動かしたかったから
6	④紹介してもらったから
1	⑤その他

問2.ここ楽に参加しての感想について、あてはまるものに○をしてください。（1つ）

回答数		回答数	
9	①満足	0	③やや不満
3	②やや満足	0	④不満

問3.問2.で①満足、②やや満足と回答した理由を教えてください。（複数回答可）

回答数	
5	①他の利用者や職員と交流・おしゃべりができる
1	②昼食がおいしい
2	③みんなで食事ができる
7	④施設からの送迎がある
6	⑤身体を動かすことができる
5	⑥マルシェで買い物ができる
0	⑦その他

問4.問2.で③やや不満④不満と回答した理由を教えてください。（複数回答可）

回答数	
1	①他の利用者や職員と交流・おしゃべりができない
0	②レクリエーションが楽しくない
1	③昼食がおいしくない
0	④体を動かすことが少ない
2	⑤マルシェで買うものがない
0	⑥時間を持て余す
1	⑦その他

問5.ここ楽のレクリエーションで楽しかったものを教えてください。（複数回答可3つまで）

回答数	
4	①ペットボトルでボーリング
1	②すごろく
0	③ポケットボール
3	④脳トレ
2	⑤風船バレー
1	⑥ベンチサッカー
1	⑦カーリングゲーム
1	⑧講話（食生活について等）
3	⑨外出（紅葉狩り等）
3	⑩その他 カラオケ ゲートボールみたいなもの 何をしても楽しい

問6.ここ楽のレクリエーションでしたいことがあれば教えてください。

回答	体を動かすこと・習字やペン習字等
----	------------------

問7.ここ楽の開催頻度について、当てはまるものに○をしてください。

回答数	
9	①月1回が良い
0	②月2回以上してほしい
0	③その他

問8.ここ楽について何かご意見・ご感想があれば、聞かせてください。

回答	初回なので余りわからなかった・初参加なのでお答えできません
----	-------------------------------

【マルシェについて】

問1.マルシェを利用して買い物をしたことがありますか。

回答数	
11	①はい
1	②いいえ

問2.マルシェ@こうじゅえんでの買い物は、生活の中での楽しみの一つになっていますか。

回答数	
5	①はい
1	②いいえ
3	③どちらとも言えない

問2.ではいと答えた理由は何ですか。（複数回答可）

回答数	
1	①商品の種類が多い、買いたい商品がある
2	②遠くまで買いに行かなくてすむ
0	③珍しい商品がある
2	④自分で選べて楽しい（手に取って見て買える）
2	⑤話をしながら買い物ができて楽しい
0	⑥その他

問2.でいいえと答えた理由は何ですか。（複数回答可）

回答数	
1	①買いたい商品がない
0	②買い物に困っていない
0	③ほかの人がいると買いにくい
1	④商品を自宅まで持ち帰るのが大変
2	⑤移動販売の頻度が少ない
1	⑥その他 商品の数が少ない

問2.でどちらでもないと答えた理由を教えてください。

回答	自由に好きなものを買物に行くことができるから
	ほしいものがない
	コーヒーがない
	とくし丸を利用している
	便利だが商品が少ない

問3.マルシェで購入して良かったものがあれば、教えてください。（複数回答可）

回答数	
3	①弁当
1	②総菜（まきずし、コロッケなど）
3	③加工食品（豆腐、あげなど）
1	④パン類
1	⑤お菓子類（ポン菓子など）
1	⑥飲み物（コーヒーなど）
0	⑦日用品（洗剤、トイレットペーパー、マスク、カイロなど）
2	⑧手作り小物（手提げ袋、帽子、アクセサリーなど）
0	⑨その他

問4.今後、マルシェで購入したいものがあれば、教えてください。（複数回答可）

- ①食料品（弁当・総菜・加工食品・飲み物・肉類・魚類・野菜・果物・パン・お菓子類
飲み物・調味料・インスタント食品）
- ②日用品（洗剤・トイレットペーパー・ティッシュペーパー・衣類・文具）
- ③その他（手作りの小物（袋や帽子）・アクセサリー）
- 購入したいものについて、ご自由に記入ください。

回答数		回答数	
2	パン	1	加工食品
5	弁当	1	洗剤
2	果物	1	衣類
2	お菓子	1	自由記述 洗剤は毎回買う
1	総菜		

問5.マルシェについて何か希望することがあれば、お聞かせください。

回答	お弁当が温かい方がよい
----	-------------

問6.普段、どのように食料や日用品を購入しているか、教えてください。（複数回答可）

- ①自分でお店に買いに行く
- 買い物に行く交通手段は何ですか。
- ・自動車
- （誰が運転をしますか？：（複数回答可）
- 自分・家族(配偶者・子・孫・友人・近所の人・ヘルパー・その他)

回答数（自動車）

2	孫	1	配偶者
3	家族	2	子
3	自分	1	バス

②買ってきてもらう（誰に？家族・親戚・友人・近所の人・ヘルパー・その他）

回答数（配達等）	
1	親戚
3	家族
2	戸別配達

問7.その他、生活のなかで、困ること・心配なことが、あれば教えてください。

回答	草取りができない 草取り 掃除 高いところの用事ができない 灯油を入れるのが重い 大雪の除雪が困った 独り暮らしの高齢者には地域の助けてくれる人はいないでしょうか？ 新聞を縛ること ゴミ出し 目が見えにくくなった 息子が近くに住んでおり、夜は息子宅にいる
----	---

* 「生活支援サポーター事業」の実施

高齢者等の日常生活上の困りごとの手助けを行う生活支援サポーター事業に取り組みました。ちょっとした困りごとを生活支援サポーターが解決することで、住み慣れた地域での生活が継続でき、定期的に生活支援サポーターが訪問することで、見守りや困ったことがあった時に相談しやすい馴染みの関係が構築されています。また、地域の元気な高齢者等が生活支援サポーターの担い手となり、サポーター活動を通じて役割を持つことで生きがいづくりや介護予防に繋がっています。

（日常生活支援総合事業）

津山市の総合事業の協力事業所として、サポーターのコーディネート業務を行いました。

（独自事業）

津山市の日常生活支援総合事業だけでは対応できない、生活支援を希望されている方に対して、高寿園独自事業として生活支援サポーターのコーディネートを行いました。

（活動状況）

依頼内容	利用者(総合)	利用者(独自)	活動数(総合)	活動数(独自)	活動数(合計)
ゴミ出し	2	3	102	74	181
掃除		1		4	4
合計	2	4	102	78	185

内 容		件数	
生活支援サポーターの依頼（実施できたケース）		1件	
生活支援サポーターの依頼（実施に至らなかったケース）		0件	
サポーター事業に関する概要の問い合わせ		1件	
合 計		2件	
内 容	件数	内 容	件数
利用料の集金と活動状況の確認	61件	その他（活動の打ち合わせなど）	1件
担当学会議	1件	合 計	63件

生活支援サポーター訪問サービス事業情報交換会への出席
津山市の生活支援サポーター事業協力事業所の情報交換会に出席しました。

＊ 子ども応援事業

・ おもちゃ図書館

コロナ禍のため定期開催を中止し、予約制で1グループ貸切で開催しました。合わせておもちゃの貸し出しも行いました。

場所 地域センター

利用件数 6家族 18名

おもちゃの貸し出し

19件 42種類



・ HELLO BABYとの共催事業

日時	内容	日時	内容
4月7日	ちくちくタイム	10月28日	ちくちくタイム
5月17日	産後ヨガ	10月29日	ふるぎステーション&無料開放デイ
5月26日	マタニティヨガ	11月3日	みんなのマタニティクラス（7名）
5月30日	抱っことおんぶ教室	11月4日	産後ヨガ
6月10日	靴選び講座	11月9日	マタニティヨガ
6月11日	英語であそぼう	11月10日	みんなのマタニティクラス（5名）
6月13日	みんなのマタニティクラス（14名）	11月18日	みんなのマタニティクラス（10名）
6月16日	マタニティヨガ	11月21日	抱っことおんぶ教室
6月21日	ちくちくタイム	11月23日	みんなのマタニティクラス（4名）
6月27日	産後ヨガ	12月5日	産後ヨガ
6月30日	みんなのマタニティクラス（12名）	12月8日	みんなのマタニティクラス（9名）
7月9日	みんなのマタニティクラス（15名）	12月15日	マタニティヨガ&ハローマザー
7月11日	マタニティヨガ	12月16日	ベビーリトミック
7月14日	ハローマザー	12月18日	英語であそぼう
7月16日	みんなのマタニティクラス④（11名）	12月21日	抱っことおんぶ教室
7月22日	ベビーマッサージ	12月23日	ベビーリトミック
7月26日	産後ヨガ	1月6日	産後ヨガ
7月29日	抱っことおんぶ教室	1月12日	産後期編（5名）
8月1日	みんなのマタニティクラス（7名）	1月18日	マタニティヨガ
8月2日	ちくちくタイム	1月21日	両親学級
8月16日	みんなのマタニティクラス（8名）	1月23日	手形足形アート
8月22日	マタニティヨガ	2月3日	手形足形アート
8月23日	産後ヨガ	2月8日	産後ヨガ
8月30日	抱っことおんぶ教室	2月9日	お産編（10名）
9月1日	みんなのマタニティクラス（11名）	2月11日	英語であそぼう
9月7日	靴選び講座	2月15日	マタニティヨガ
9月9日	産後ヨガ	2月16日	産後期編（6名）
9月10日	みんなのマタニティクラス（6名）	2月23日	抱っことおんぶ教室
9月20日	みんなのマタニティクラス（5名）	2月27日	手形足形アート
9月22日	ベビーマッサージ	3月2日	妊娠期編（8名）
9月28日	抱っことおんぶ教室	3月4日	両親学級
10月7日	産後ヨガ	3月6日	産後ヨガ
10月11日	マタニティヨガ	3月9日	お産編（10名）
10月15日	英語であそぼうハロウィン	3月10日	抱っことおんぶ教室
10月17日	ちくちくタイム	3月16日	マタニティヨガ
10月20日	みんなのマタニティクラス（10日）	3月18日	産後期編（4名）
10月25日	抱っことおんぶ教室	3月20日	手形足形アート
		3月21日	両親学級

○ 令和4年度 役員会等の開催状況

・ 理事会の状況

開催年月日	理事	監事	決議事項
R4 .4.11	5名	1名	監事候補者の専任について 評議員選任・解任委員の選任について
R4 .5.31	6名	1名	令和3年度第3次補正予算書（案）について 令和3年度事業報告書（案）について 令和3年度資金収支決算書（案）について 評議員会の招集、職務執行状況の報告
R4 .10.31	4名	2名	新評議員候補者の選任について 職務執行状況の報告
R4 .12.12	5名	2名	令和4年度第1次補正予算（案）について 評議員会の招集、職務執行状況の報告
R5 .3.7	5名	2名	令和4年度第2次補正予算（案）について 令和5年度事業計画（案）について 令和5年度資金収支予算（案）について 評議員会の招集、職務執行状況の報告

・ 評議員会の状況

開催年月日	評議員	監事	決議事項
R4 .4.26	7名		（書面決議） 監事の選任について
R4 .6.15	7名	2名	令和3年度事業報告書（案）について 令和3年度歳入・歳出決算書（案）について 監査報告 職務執行状況の報告
R5 .1.6	5名	2名	令和3年度第1次補正予算（案）について 職務執行状況の報告
R5 .3.24	6名	2名	令和4年度第2次資金収支補正予算（案）について 令和5年度事業計画（案）について 令和5年度資金収支予算（案）について 職務執行状況の報告

・ 評議員選任・解任委員会の状況

開催年月日	委員	監事	決議事項
R4 .10.31	3名	1名	評議員の選任について

・ 監事会の状況

開催日 ： 令和4年5月24日 出席監事 ： 2名
令和3年度業務執行の状況及び財産の状況の監査

・ 税理士監査の状況

開催日 ： 令和4年5月17日 税理士 ： 1名
令和3年度事業運営の状況、規程等の順守、経理執行・財産の状況の監査

○ ボランティア、行事の開催等

ボランティアの訪問

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ショート	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
昔話・歌・体操等	R5.3.10	金	33	0	8	8		6	津山語りの会 いろりばた
	R5.2.10	金	39	3	5	7		4	
	R5.1.13	金	32	5	4	10		6	
	R4.12.9	木	45	2	6	6		6	
	R4.11.11	金	32	2	5	6		5	
	R4.10.14	金	32	7	5	8		7	
	R4.9.9	金	22	4	5	10		5	
	R4.7.14	木	26	7	7	6	2	7	
	R4.6.9	木	25	7	6	10	3	5	
	R4.10.19	水	15	2	4	30		3	NAKAMOTO家
ひまわりのプレゼント	R4.7.25	月				2		1	杉の森 子ども会
参加者・ボランティア合計			301	39	55	103	5	55	

行事以外のボランティア

内 容	月 日		人数	団体名
夏休み課題応援	R4.8.10	水	1	小学校教諭
	R4.8.11	木	1	
縫物	R5.3.20	月	1	個人
	R5.3.11	土	1	
	R5.2.24	金	1	
	R4.10.8	土	1	
	R4.9.17	土	1	
	R4.7.16	土	1	
	R4.10.1	土	1	
	R4.7.9	土	1	

行事

行事名	開催日		参加者					ボランティア			費用
			入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
お花見	R4.4.5	水	78	7		39					23,780
お花見ツアー	R4.4.5	水	8			2					
書道クラブ	R4.5.22	日	13			3					
カラオケ喫茶	R4.6.4	土	25			5					
	R4.6.5	日	21	2		5					
手作り菓子	R4.6.8	水	59	7	5	10					4,337
カラオケ喫茶	R4.6.11	土	37			5					
	R4.6.12	日	32			5					
	R4.6.18	土	30			5					
	R4.6.19	日	25			5					
ボウリング大会	R4.6.22	水	56	1	4	14					5,820
わいわいクラブ	R4.6.24	金	19			3					
カラオケ喫茶	R4.6.25	土	27			5					
七夕	R4.7.1	金	17			4					550
	R4.7.2	土	20			4					
	R4.7.3	日	41			4					
カラオケ喫茶	R4.7.2	土	23			5					

行事名	開催日		参加者					ボランティア			費用
			入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
書道クラブ	R4.7.4	月	10			4					
おやつ流しそうめん	R4.7.6	水	30	2	6	7					17,488
七夕	R4.7.8	金		3	8	3					
カラオケ喫茶	R4.7.9	土	22			5					
	R4.7.15	金	25			5					
カラオケ喫茶	R4.7.16	土	32			5					
	R4.7.18	月	26			5					
アイスづくり	R4.7.22	金	20			8		1	美作大学実習生	行事補助	2,300
ハッピークラブ	R4.7.29	金	10			3					
	R4.8.5	金	17			3					
絵手紙教室	R4.8.9	火	10			6		2	夏のボランティア	行事補助	
								1	福祉職場インターンシップ		
								1	美作大学		
夏祭り	R4.8.10	水	74	5	6	37		5	夏のボランティア	行事補助	13,823
								1	福祉職場インターンシップ		
								1	美作大学		
カラオケ喫茶	R4.8.12	金	32			5		1	美作大学	行事補助	
	R4.8.14	日	28			5		3	夏のボランティア		
手作り菓子	R4.8.17	水	58	5		8		1	美作大学	行事補助	4,857
カラオケ喫茶	R4.8.20	土	25			5					
ハッピークラブ	R4.8.26	金	15			3					
ドライブ	R4.8.29	月	3			2					
	R4.8.30	火	2			2					
	R4.8.31	水	6			2					
ハッピークラブ	R4.9.2	金	17			3		1	美作大学	行事補助	
ドライブ	R4.9.9	金	2			2					
カラオケ喫茶	R4.9.10	土	25			5					
フラワーアレンジメント	R4.9.12	月	20			9		1	美作大学	行事補助	1,998
								4	介護等体験		
敬老お祝い会	R4.9.14	水	60	4	4	38			実習生5名		48,746
ドライブ	R4.9.15	木	2			2					
ハッピークラブ	R4.9.16	金	10			3		1	美作大学	行事補助	
								4	介護等体験		
ガーデンランチ	R4.9.19	月	8			4					
ハッピークラブ	R4.10.7	金	17			3					
ガーデンランチ	R4.10.8	土	8			4					
手作り菓子	R4.10.12	水	19	2		15					1,800
書道クラブ	R4.10.15	土	14			3					
秋祭り	R4.10.19	水	54		5	22					10,000
握りずしフェア	R4.10.19	水	51	5	5	23					77,533
わいわいクラブ	R4.10.25	火	20			3					
ハッピークラブ	R4.10.28	金	9			3					
カラオケ喫茶	R4.10.29	土	29			5					
屋台村	R4.11.2	水	66	3	5	48					85,048
ハッピークラブ	R4.11.4	金	14			3					
書道クラブ	R4.11.20	日	14			3					

行事名	開催日	参加者					ボランティア			費用
		入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
ハッピークラブ	R4.11.23	水	19		3					
	R4.12.7	水	12		3					
クリスマス会	R4.12.21	水	55	2	5					9,240
手芸クラブ	R4.12.25	日	7		5					
お餅つき	R4.12.28	水	12	4	5					
フラワーアレンジメント	R4.12.29	木	8	2	7		1			20,600
門松づくり	R4.12.29	木	8		3					
おそうに会	R5.1.1	日	10	3	16					1,040
新春書初めの会	R5.1.2	月	6		4					
初詣	R5.1.2	月	5		4					
新春カラオケ喫茶	R5.1.2	月	27	1	5					
初釜	R5.1.5	木	18	1	9					
ピアノコンサート	R5.1.8	日	17		5					
新春カラオケ大会	R5.1.11	水	47	3	5					
とんど	R5.1.15	日	30	6	11					
節分祭	R5.2.1	水	60	5	5					2,764
書道クラブ	R5.2.11	土	11		3					
メンズクラブ	R5.2.17	金	3		2					1,118
手芸クラブ	R5.2.18	土	7		5					
わいわいクラブ	R5.2.19	日	7		3					
ひなカフェ	R5.3.8	水	47	8	5					
カラオケ喫茶	R5.3.11	土	31	1	5					
	R5.3.15	水	20	1	5					
ハッピークラブ	R5.3.15	水	6		3					
メンズクラブ	R5.3.18	土	6		3					
ハッピークラブ	R5.3.22	水	12		3					
書道クラブ	R5.3.29	水	12		3					
ぐりーんカフェ	R4.4.7	木		8	6	3				
	R4.5.13	金		3	7	3				
	R4.6.10	金		7	6	3				
	R4.7.28	金		7	7	3				
	R4.8.22	月		6	5	3				
	R4.9.8	木		6	7	3				
	R4.10.13	水		7	7	3				
	R4.10.26	水		9	3	3				
	R4.11.10	木		10	8	3				
	R4.11.21	木		9	6	3				
	R4.12.8	木		9	8	3				
	R5.1.19	木		6	8	3				
	R5.2.15	金		2	5	3				
	R5.2.23	木		6	7	3				
	R5.3.9	木		2	7	3				
	R5.3.24	金		3	6	3				
参加者・ボランティア合計		867	27	29	224	0	29	費用合計		332,842

○行事食・希望食

行事名	月日	行事献立
お花見会	R.4.4.5	＜お花見弁当＞ ちらし寿司・赤魚の西京焼き・黒豆がんもの煮物 菜の花となめこの和え物・茶わん蒸し・桜ようかん
端午の節句	R.4.5.5	オムライス・エビフライ・コンソメスープ・メロンゼリー
手作り菓子	R.4.6.8	パウンドケーキ（おやつ）
あじさい寿司	R.4.6.13	アジサイ寿司・里芋と鶏肉の煮物 ほうれん草のおから和え・味噌汁
七夕	R.4.7.6	流しそうめん（おやつ）
	R.4.7.7	七夕そうめん・ごぼうと豚肉の味噌煮・黄桃缶のピーチジュレ
土用の丑の日	R.4.7.23	うな丼・筍と豚肉の煮物・味噌汁・きゅうりの浅漬け風
夏祭り	R.4.8.10	かき氷・ジュース・わたあめ（おやつ）
手作り菓子	R.4.8.17	フルーツボンチ（おやつ）
敬老お祝い会	R.4.9.14	＜デザート＞フリーカットケーキ（おやつ）
握り寿司フェア	R.4.10.19	高寿園盛り 常食…サーモン・生えび・たまご・鰻・ハマチ ソフト…サーモン・生えび・ネギトロ・たまご・ハマチ ゼリー…やわらか押し寿司
手作り菓子	R.4.10.12	スイートポテト・いもようかん（おやつ）
屋台村	R.4.11.2	焼きそば・自然薯汁・パン・おでん・惣菜・その他
手作り菓子	R.4.12.21	ババロア（おやつ）
クリスマス	R.4.12.25	オムライス・鶏の唐揚げ・コンソメスープ
餅つき	R.4.12.28	あんこ餅・きな粉餅（おやつ）
大晦日	R.4.12.31	晦日そば・大根と豚肉の利休煮・みかん缶
新年会	R5.1.1	＜おせち＞ 有頭海老の旨煮・合鴨スモーク・ほたて旨煮・数の子・ 高野豆腐の煮物・伊達巻・絵馬蒲鉾・花三色・お煮め・ 黒豆・若桃の甘露煮
お雑煮の会		お雑煮
とんど	R.5.1.15	ぜんざい・ようかん（おやつ）
節分	R5.2.3	巻き寿司・稲荷寿司・肉金平・うまい菜と椎茸のピーナッツ和え
ひな祭り	R5.3.3	ちらし寿司・厚揚げとふきの煮物・茶碗蒸し・黄桃缶

〈別紙1〉 令和4年度 研修等一覧表

※ 発表/講師/スタッフ等派遣

日 程	内 容	参加者名	人数	場 所	主 催
	【講師等】				
R4.10.17.24	認定介護福祉士養成研修Ⅱ類：講師	局長	1	きらめきプラザ	県介護福祉士会
R4.10.29	社会福祉士実習指導者養成研修・講師	Solution課長	1	きらめきプラザ	県社会福祉士会
R4.11.22	認定介護福祉士養成研修Ⅱ類：講師	施設長	1	きらめきプラザ	県介護福祉士会
R5.1.7	社会福祉士実習指導者アップデート研修・講師	Solution課長	1	きらめきプラザ	県社会福祉士会
	【インタビュー・実践報告】				
R4.6.13	介護人材育成・確保インタビュー	Solution課長	1	高寿園	仏教大学研究事業
R4.9.5	実習指導に関するグループインタビュー	Solution課長	1	オンライン	日本社会福祉士会
R4.10.5	全国老施協実証モデル事業報告	施設長、 介護支援課長	3	オンライン	全国老施協
R4.10.6.14	腰痛予防に関するヒアリング	介護士・看護師・施設長	6	高寿園	島根県立大学院研究事業
R4.10.11	ドクターメイト導入インタビュー	施設長、介護支援課長	2	オンライン	ドクターメイト
R4.10.24	認定介護福祉士養成研修Ⅱ類：事例報告	Solution課長、介護士	2	きらめきプラザ	県介護福祉士会
R4.11.24	CCJ記録公開について実践報告	施設長	1	オンライン	ケアコネクトジャパン
R4.11.30	老健協事業介護ロボット導入効果実態調査ヒアリング	施設長	1	オンライン	日本総研
R4.11.30	老健協事業認知症感染防止対策ヒアリング	施設長	1	オンライン	日本総研
R5.2.3	介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究インタビュー	Solution課長	1	オンライン	日本社会福祉士会
	【イベント等応援】				
R4.5	「福祉の仕事PR動画」協力	Solution課長、介護士	7	高寿園	県経営協
R4.11.5	おかやま総合・福祉介護フェス'21cスタッフ	事務員	1	きらめきプラザ	県老施協
	【研修会等スタッフ】				
R4.7.28	中国B老人福祉施設長研修会	施設長	1	コンベンションセンター	県老施協
R4.9.13	県老施協福祉機器体験研修会	施設長	1	きらめきプラザ	県老施協
R4.10.27	2025年からの介護と人生設計	施設長	1	市役所	市介護保険事業者連絡協議会
R4.11.28	県老施協虐待防止研修	施設長	1	きらめきプラザ	県老施協
	【視察受け入れ】				
R4.9.9	CAREKARTE・眠りスキャン視察	白寿荘	2		
R5.1.11	スカイリフト等視察	唐松荘			
R5.1.19	ハナスト等視察	セントポーリア愛の郷	2		
	【表彰等】				
R4.10.25	津山市長感謝	施設長	1		津山市社協
R5.3.22	岡山子育て応援企業知事表彰	理事長・施設長	2	岡山県庁	岡山県

※ 外部研修

日 程	研 修 会 名	参加者	人数	場 所	主 催
R4.5.27	施設における感染対策研修会	部長	1	津山東公民館	津山市介護保険事業者連絡協議会
R4.6.14.23	BCPセミナー	事務員	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫
R4.7.4-9.30	安全対策担当者養成研修	介護士	2	オンライン	全国老施協
R4.7.7	福祉・介護職員合同入職式	介護士	2	鶴山ホテル	岡山県
R4.7.28	中国B老人福祉施設長研修会	施設長、Solution課長	2	コンパニオンセンター	県老施協
R4.8.8	経営協セミナー(前期)	事務員	1	オンライン	県経営協
R4.8.12～	特定給食施設関係者研修会	管理栄養士、調理員	8	オンライン	岡山県
R4.9.1	介護福祉士実習指導者フォローアップ研修	Solution課長	1	きらめきプラザ	県介護福祉士会
R4.9.7-8	認知症介護実践研修①	介護士	1	刈羽ポートなださき	岡山市ふれあい公社
R4.9.13	県老施協福祉機器体験研修会	介護支援課長、OT	2	きらめきプラザ	県老施協
R4.9.15	給食施設管理者研修会	管理栄養士、調理員	3	オンライン	美作保健所
R4.9.28-29	認知症介護実践研修②	介護士	1	刈羽ポートなださき	岡山市ふれあい公社
R4.10/3-11/30	N3日本語能力試験受験対策講座 全16回	技能実習生	1	オンライン	日本ベドロ株式会社
R4.10.7	安全運転管理者講習	事務員	1	オンライン	県公安委員会
R4.10.6-7	ユニットリーダー研修	介護士	1	オンライン	ユニットA推進センター
R4.10.11-12	ユニットリーダー研修	介護士	1	オンライン	ユニットA推進センター
R4.10.12	福祉ビジョン21世紀セミナー	施設長	1	オンライン	全社協
R4.10.16	津山遺言フォーラム	部長	1	津山圏域雇用労働センター	岡山地方法務局
R4.10.27	2025年からの介護と人生設計	Solution課長、事務員	5	市役所/オンライン	市介護保険事業者連絡協議会
R4.10.27	つしん未来塾①	Solution課長	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫
R4.11.2	リーダー研修「外国人介護職への指導」	Solution課長、介護士	3	きらめきプラザ	県介護福祉士会
R4.11.10	つしん未来塾②	Solution課長	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫
R4.11.10-11	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	施設長	1	ザクラウンパレス高知	中国・四国地区経営協
R4.11.28	虐待防止研修	Solution課長、局長	2	きらめきプラザ	県老施協
R4.11.30	認知症介護実践研修③	介護士	1	刈羽ポートなださき	岡山市ふれあい公社
R4.12.7	技能実習指導員研修	Solution課長、介護士	3	きらめきプラザ	県介護福祉士会
R4.12.8	つしん未来塾③	Solution課長	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫
R4.12.8-9	ユニットリーダー研修	介護士	1	オンライン	ユニットA推進センター
R4.12.26	認知症介護基礎研修	介護士	3	オンライン	岡山県
R5.1.19	つしん未来塾④	Solution課長	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫
R5.1.27	会計基準実践的基礎講座	Solution課長	1	オンライン	全国老施協
R5.2.2	クリエイトセミナー	Solution課長	1	オンライン	県経営青年会
R5.2.13	会計実務者決算講座	施設長、Solution課長	2	オンライン	全国経営協
R5.2.16	つしん未来塾⑤	Solution課長	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫

※ 会議等

日 程	会 議 等 名	参加者名	人数	場 所	主 催
R4.4.7	県老施協 第1回21世紀委員会イベント班	事務員	1	きらめきプラザ	県老施協
R4.4.28	市介護保険事業者連絡協議会施設部会	施設長	1	津山市役所	市介護保険事業者連絡協議会
R4.5.17	県老施協 第2回21世紀委員会イベント班	事務員	1	きらめきプラザ	県老施協
R4.5.18	2022夏のボランティア体験説明会	Solution課長	1	市総合福祉会館	市社協
R4.5.20	市介護保険事業者連絡協議会役員会	施設長	1	津山市役所	市介護保険事業者連絡協議会
R4.5.30	県老施協 第1回理事会	施設長	1	オンライン	県老施協
R4.6.7	県老施協 第3回21世紀委員会イベント班	事務員	1	きらめきプラザ	県老施協
R4.6.8	県老施協 第1回研修委員会	施設長	1	オンライン	県老施協
R4.6.21	県老施協21世紀委員会総会	Solution課長・事務員	2	オンライン	県老施協
R4.7.6	市介護保険事業者連絡協議会第2回施設部会	施設長	1	津山市役所	市介護保険事業者連絡協議会
R4.7.7	県老施協 第4回21世紀委員会イベント班	事務員	1	ピュアリティまきび	県老施協
R4.7.16	県老施協 第5回21世紀委員会イベント班	事務員	1	studio heroes	県老施協
R4.9.13	第1回 社会福祉施設における災害福祉支援体制部会	Solution課長・事務員	2	オンライン	県社協
R4.10.24	県老施協 第1回21世紀委員会幹事会	事務員	1	オンライン	県老施協
R4.11.10	介護福祉学科実習報告会	Solution課長	1	オンライン	美作市スポーツ医療看護専門学校
R4.12.1	県老施協 第2回研修委員会	施設長	1	オンライン	県老施協
R4.12.19	県老施協 第3回理事会	施設長	1	きらめきプラザ	県老施協
R4.12.26	県老施協 研修委員会打合せ	施設長	1	オンライン	県老施協
R4.12.27	県老施協 第2回21世紀委員会幹事会	事務員	1	オンライン	県老施協
R5.1.26	全国老施協代議員選挙実行委員会	施設長	1	オンライン	県老施協
R5.2.14	県老施協 第4回理事会	施設長	1	オンライン	県老施協
R5.2.28	不在者投票事務説明会	部長	1	オンデマンド	岡山県
R5.3.2	社会福祉士実習反省会・打合せ会	Solution課長	1	美作大学	美作大学
R5.3.7	介護福祉士実習反省会・打合せ会	Solution課長	1	美作大学短期大学部	美作大学
R5.3.8	県老施協 第2回総会	施設長	1	きらめきプラザ	県老施協
R5.3.14	県老施協 第3回研修委員会	施設長	1	オンライン	県老施協

※ 求人

日 程	催 事 等 名	参加者名	人数	場 所	主 催
R4.6.28	県北若者・学生就職応援フェア	部長	1	津山総合体育館	津山公共職業安定所
R4.7.26	高校生のためのジョブフェア	部長・事務員	2	津山総合体育館	津山公共職業安定所
R4.11.17	おかやま就活フェス新規学卒者等合同就職面接会	部長	1	ジップアリーナ	津山公共職業安定所
R5.2.18	福祉の就職総合フェア	部長	1	コンベンションセンター	岡山県社協
R5.3.3	県北地域企業説明会	部長	1	津山圏域雇用労働センター	津山広域事務組合

〈別紙2〉 令和3年度 ユニット報告

『ユニット3・4』

【入居者が心身ともに健やかに過ごせる。】

【ICTを活用して、入居者、職員が共に、安全・安心に過ごせるを重点目標に、ユニットケアを行いました。

- ・ユニットミーティングを開催し、スタッフ間での情報共有に努めました
- ・適切な介護用品を使用し、身体的負担のない介助が行えました。
- ・毎日の検温を行い、感染予防に努めました。
- ・ICTを活用しての、情報の分析や、事故対応が迅速に行えない事がありました。事故防止の面では、次年度に課題を置き、ケアの質の向上に努めます。

ユニット費：日用品 - 2000～5000円

※レク活動や作品制作費を含む

ユニット5

『その人らしい暮らしの継続と、心穏やかな日々が送れるような関わりを持ちます』を目標として1年間ユニットスタッフで取り組みました。

- ・ICT機器を活用し、個々の生活や睡眠の状態を把握することで、それぞれに合ったケアの見直しを行いました。
- ・日々の検温や状態観察を行い、体調の変化を見逃さず、安心した毎日を過ごして頂けるように努めました。
- ・ユニットミーティングやスタッフ間での情報共有を積極的に行い、適切かつ統一したケアに繋げるよう努めました。
- ・来年度もスタッフ間でしっかりと連携を取りながら、安心・安全な日々を送れるよう努めていきたいと思いをします。

日用雑貨 1000円～2000円／月

《ユニット6》

『一人ひとりにあった個別ケアを行い、その人らしい生活の実現を目指す』

- ・ICT機器の活用により、入居者が安心・安全に生活できるよう努めました
- ・体調の変化を早期発見できるよう、毎日検温を行い感染予防に努めました
- ・生活に不都合が出来た時は、スタッフで話し合いをし、情報を共有して安心して生活が送れるよう、統一したケアに努めました
- ・行事、ユニットレクや日々の関わりを通して、しっかりコミュニケーションをとり笑顔で穏やかに生活できるよう心掛けました

日用雑貨 1000円～2000円／月

『ICT機器やリフトの活用により、入居者、スタッフ共に安心、安全な生活を送れるユニット作り』
を重点目標として1年間ユニットスタッフで取り組みました。

- 『一人ひとりの入居者が安心して生活が送れるユニット作り』を重点目標として1年間ユニットスタッフで取り組みました。

- 『入居者一人一人に寄り添ったケアを提供し、生きがいを持った暮らしを支える
ユニットづくりを重点目標としてユニットスタッフで一年間取り組みました。

- 『入居者一人一人にのニーズに寄り添い、個性、尊厳を大切に、生き生きと暮らせるようなユニットづくり』を重点目標としてユニットスタッフ全員で取り組みました。

- 39

令和4年度ユニット費用（ユニット9・10共有）

- ・行事用、アクティビティ用材料（工作材料・本など） 約1,000円/月
- ・掃除、衣類補修、洗濯生活用品 約1,000円～2,000円/月
- ・飲み物、し好品（行事用） 約800円/月
- ・季節室内装飾等 約500円/月

〈別紙3〉 令和4年度 委員会活動報告

○ ケア向上委員会

《排泄・褥瘡予防チーム》

『一人ひとりに合った排泄ケアを行う』を目標に取り組みを行いました。

パットホルダーの使用やスタンディングリフトを使用してトイレでの排泄を進めました。

パットホルダーの使用によって皮膚トラブルが減少した方がいましたが、一方で失禁が多く上手くいかず中止した方もいました。

『皮膚トラブルを予防し褥瘡0を維持する』を目標に取り組みを行いました。

ブレーデンスケール、OHスケールの研修を委員会内で行い、理解を深め統一した評価を実施できるようにしました。

褥瘡や傷の予防のため、爪切りや丁寧な洗身、保湿の取り組みを上げていましたが、表皮剥離の発生が多くありました。保湿の不足、水分摂取量の不足による皮膚の乾燥が原因と思われました。下肢や足趾のトラブルもありました。下肢の血行不良が原因と思われ、椅子への座り替えや足の運動を推奨し、取り組みを始めています。

傷ができた方でも、小さな傷のうちからオムツの当て方などの情報共有に取り組み、大きな傷にならず軽快した方もありました。

- ・委員会 開催回数 10回
- ・新人介護士を中心とした陰洗の仕方の研修

《認知症ケアチーム》

認知症ケアチームでは、「認知症の理解を深め個々に合ったケアの提供」を目標に「ひもときシート」の活用を検討しました。

今ある課題に対し、生活歴や環境等からのアプローチ、ご本人の気持ちに寄り添うケアを行うためのアセスメントについて学びました。

施設内研修では、「ひもときシート」について職員全体に伝達し、認知症ケアの理解に努めました。

- ・委員会開催：月1回
- ・研修の開催：年1回

《看取りケアチーム》

* 看取りケアチーム

- ・看取りケアマニュアルに沿った実践と定期的な見直しを行いました。
- ・看取りケア、グリーフケアの事例検討を定期的に行い、質の向上に努めました。
現行の看取りケアマニュアルを確認して、変更点の有無を確認
看取りケアの振り返り
眠りスキヤンの活用を目指して、PBメゾットについての理解
- ・看取りケアについての理解を深めるため、研修会を開催しました。
内容：緊急時の対応と看取り加算について
日時：令和4年8月24日（水）13：30～14：20
参加人数：25名（不参加者は伝達研修）
- ・委員会開催回数：10回

○ リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会では、「ヒヤリ・事故」が起こる前の「ハット」に注目し、事故防止に努めました。

施設内研修では、ハット事例を通してグループで検討し、ハット報告の重要性を周知しました。

事故後、多くの要因の中から真因を見つけやすくするため「カンファレンスシート」を作成しました。

また、他ユニットのカンファレンスへ積極的に参加し、施設全体で事故防止への意識を高める機会を持ちました。

- ・委員会開催：月1回
- ・研修の開催：年2回

○ アクティビティ委員会

「生活意欲の向上や、楽しみ・喜びの持てるアクティビティを計画する」と目標を立てて、委員会メンバーを中心に、各課、ユニットの協力を得ながら活動しました。コロナの影響もありましたが、生活意欲、活性化、楽しみを意識してアクティビティを計画しました。外出支援では、自宅周辺へドライブに行き、外の空気に触れたり景色を観て気分転換を図りました。定期的に開催している書道クラブでは、今年度も地域の文化展に出展して、外出支援を行い展示している自分の作品を見学して、意欲の向上にもなりました。

恒例となった『寿司ボランティア』来園は今年も好評でした。今年度も栄養班と協力をして、全ての食形態の入居者・利用者に握り寿司の提供ができ、とても喜ばれていました。

定期的なクラブ活動が増え、新たな企画も増えました。

入居者のしたい事の実現に向けて、リクエストカードを作成して、計画し実行しました。

クラブ・行事企画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
書道		14		20			15	20		12	13	15	109
ガーデンランチ						8	8						16
アイスクリーム作り				20									20
施設周辺散歩& 秋の味覚を味わう							26						26
握り寿司フェア							78						78
初釜										34			34
カラオケ喫茶			122	158	80	25	33	90		32		68	608
わいわいクラブ			15				22				10		47
手芸クラブ					10				8		8		26
メンズクラブ											6	8	14
外出支援								4					4
リクエストカード					7	4							11

・手芸クラブ…絵手紙、正月飾り、雛人形

・カラオケ喫茶…6月5回、7月5回、8月3回、11月3回、3月2回実施

◎リクエストカードの支援

・ドライブ…11名（自宅周辺等）

◎高倉地区健康福祉まつりと文化展へ参加

アクティビティ委員会：月1回開催 6～12名出席